

長岡税務署長賞

税について

新潟県立長岡大手高等学校

三年 馬場 友里奈

「税金について知っていることがありますか。」と問われたとき、税金について学ぶ前の私には消費税しか思いつきませんでした。しかし、高校に入り、政治、経済の授業を受けると、税金にはたくさん種類の使い道があり、私たちの日々の暮らしの様々な場面で使われていることがわかりました。

今年の国の一般会計歳額の内訳を見て、消費税による歳入が全体の約二十%を占める、十九兆三千九百二十億円もあることに驚きました。八%の消費税が積み重なると、こんなにも大きな額になる、ということは、今年の十月一日からの増税はたった二%上がるだけですが、とてもたくさんのお金が動くんだと改めて感じました。

十月一日からの増税と合わせて、軽減税率が導入されます。ニュース番組や授業で説明を聞きましたが、「自信を持って軽減税率のしくみを説明できるか。」と言われたら、私はできません。私の周囲の友人も名前は知っているけど、内容は……。という感じの人がたくさんいます。高校生の私たちでもよく理解することができないので、高齢者の方はもっと理解する

ことが困難ではないだろうかと私は思います。増税をすれば、消費は抑制され、内容が細かく理解が難しい軽減税率が導入されることでさらに消費が抑制されてしまうのでは、と私は少し心配しています。

私は授業で、「増税は行きすぎた好況を抑えるためにもするもの」と習いました。そもそも現在の日本の景気は良いのでしょうか。「アベノミクス」という言葉を聞いたり、昨年の税収入が過去最高になったというのを聞くと、「日本は今景気が良いんだな」と感じますが、私たち消費者はデータを見て思うだけで、直接感じるものがあまりないと思います。景気の良さを感じるためには、私たち一人ひとりが経済に関心を持ち、私たちの税金がどのように使われ、どこで私たちの暮らしを支えてくれているのかを理解する必要があります。

少子高齢化が進行する日本で、社会保障は欠かすことのできない存在だと思えます。医療、年金、介護など社会保障を必要とする人は高齢化とともに増え続けています。そんな社会の中で暮らす私たちは、もっと税金についての理解を深める必要があると思います。私たち国民がより関心を持つことでより良い国になるといいと思います。